

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こばんはうすさくら 浜北教室

公表日 2026年2月9日

利用児童数 20名(家庭数17)

回収数 16

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	4	0	1	・クールダウンスペースがほしい ・運動をするのに十分な広さがあるか気になった	運動については、空き地や活動部屋を分けたりと工夫してまいります。クールダウンスペースも今後限られた場所での扱いを検討してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	2	・専門職や元教師など、いろんな人材がいる印象 ・気づくと職員の変化がある	様々な背景の職員がいるため、それぞれの強みを生かした支援を続けてまいります。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	0	0	0	・活動と勉強のスペースがわけられていてわかりやすい ・物の位置が明確化されている	わかりやすい環境づくりを目指し、そのために保護者様やお子様の意見を柔軟に取り入れてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	2	0	0	・清潔な環境になっていると思う ・トイレが混みがちと聞く	トイレについては限りがありますので誘導の時間をずらしたり、高学年には柔軟に対応したりと、工夫してまいります。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	2	0	0	・特性に配慮しきれず現場でやりたいことが優先になっていないか ・1人1人に合った支援をしてくれている	できる限りのお子様に沿った支援を提供してまいります。また、今のお子様に必要な支援を職員間でも密にミーティングを続けてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	0	・支援プログラムに沿った支援をしてくれていると思う	今後も支援プログラムを中心に、そこに沿った支援を継続してまいります。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0	・子どもの話をたくさん聞いて作成してくれている ・わかりやすく説明してくれている	お子様のニーズを尊重しつつ、保護者様にも納得いただける計画を作成できるよう努めてまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	1	・子どもの発達課題に応じた内容で作成してくれていると思う ・よくなかったところをたくさん褒めてもらっている	お子様の課題だけではなく、お子様のできるようになったことにもたくさん目を向けることで、達成感を感じてもらえる支援を行ってまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0	・いろいろな活動を通して支援してもらえている ・急な連絡にも対応してくださる	支援内容が偏らないように、様々な背景を持つ職員で柔軟に支援してまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	2	・バリエーション豊かな活動をいつも教えてもらっている ・具体的な内容はよくわからない	お子様たちが飽きない支援を目指してまいります。また、内容の周知についても具体的にお伝えできるよう職員に伝えてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	2	1	8	・交流している様子はない	現在児童クラブや地域のお子様との交流は行っておりません。今後必要に応じて検討してまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0	・契約時に説明があったが、長く利用しているため覚えていない ・細かく説明してもらっている	契約時に説明をしておりますが、長く継続していただいている方も多いため、改めて説明の場を設けられないか検索してまいります。
保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0	・毎回丁寧に説明していただいている	個別支援計画や専門的支援計画は、作成者が保護者様に説明しながらお渡しするようにしております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1	0	0	・毎年講演会を開いていただいている ・よくわからない	講演会にご参加いただきありがとうございます。今後も保護者様のニーズに合うものを模索してまいります。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるだと思いますか。	14	2	0	0	・送迎時や連絡帳でたくさん共有していただいている	保護者様にはお子様の様子を丁寧に伝えるよう職員に指導しております。今後も継続させていただきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	0	0	・今の様子や知らないことを教えてもらえる ・丁寧に面談してもらえる	面談ではお子様自身が考えていることやご様子を保護者様にお伝えできるように、今後も準備をさせていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	0	・子どもを理解してたくさん話してもらえる ・一緒に子どもの成長を喜んでもらえる	お子様のできるようになったことにも目を向け、保護者様と一緒に喜び、共感しながら支援を続けてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	1	7	・父母会はないが働いているためあっても参加は難しい ・保護者同士の交流は少ない	様々な保護者様のお声がありますので、今回の評価も踏まえて今後検討してまいります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることにについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2	2	0	・怪我で遅刻・お休みをする際に電話で引き留められてしま困った。緊急時の対応については職員間で周知していただきたい。	大変ご迷惑をおかけしてしまい申し訳ありませんでした。職員にも対応について周知徹底してまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	0	・イベント等で全体向けの印字の報告が多いため、当日の様子が詳しく知りたいときがある	教室外での活動の際には連絡帳を各時間がなく添付を用いることがございます。そのような際には送迎の際にお子様のご様子をお伝えできるように努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	0	0	3	・イベント時などの様子を知らせる情報がお知らせされている	公式SNSを活用し、今後もイベントの様子等を発信させていただきます。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1	0	0	・事務的なことはわからないが、不安に感じたことはない	個人情報については日ごろから職員に扱い方を指導しております。今後も継続させていただきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	0	1	・避難訓練、防災訓練は実施している ・保護者への周知が少ない	訓練実施時には保護者様にも知っていただけるよう、今後は周知の方法も検討してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	0	0	・実際の避難経路を歩いて訓練してくれている	年4回の防災訓練を始め、職員のみの研修も行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	2	・安全確保のために防災訓練が行われていると思う	安全計画による点検はもちろんのこと、事業所内で危険個所や車両点検は今後も継続してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	2	・通所中に大きなかががなかったため不明 ・小さな怪我でも報告してくれる	重大事故を起こさないように気を引き締めつつ、何かあった際にはすぐにご連絡をさせていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	2	0	0	・以前は満足して通っていたが今は不満がある様子	お子様も大きくなってきたことで様々な思いが生じていることと思います。1人1人お子様に寄り添いつつ、楽しんで通っていただけるよう工夫してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	5	0	0	・たまに行き渋ることがあるが、イベントを楽しみに通っている	お子様に楽しんでいただけるような通常活動も増やせるよう、職員で活動内容を模索してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0	・子どもの長所も含めて共有していただき感謝している ・大変成長させてもらっている	我々職員一同も、お子様の成長する姿に勇気をもらい、支援者として成長させていただけております。今後とも何卒宜しくお願い致します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こばんはうすさくら 浜北教室				公表日	2026年 2月 9日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	状況に応じてホワイトボードで部屋を仕切ったり、トイレ誘導を時間差で行ったりしている。	構造上トイレには限界があるため、計画的な誘導や高学年以上は柔軟に対応していかたい。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	リトムや個人記録を分担することで支援配置を柔軟に対応している	高学年が増えたことで低学年を連れて送迎に出る機会が生じつつあるため、工夫していかたい。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	スタディルーム・プレイルームを目的別で使い分けている。	高学年が多く体も大きくなっているため、室内で思い切り身体を動かすことが難しくなってきている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	1	4	教室内が手狭になってきたが、その分機構に応じては外を活用している。	車通りがある道路が近いため、外活動の際に車通りがある道路が近いため、外活動の際には職員の配置や目印は気を付けてていきたい。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	4	クールダウンの個室はないが、個別相談には事務所を活用している。	どこまでクールダウンが必要で個別対応が必要なのか、職員間で検討していかたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	ミーティングや個別で活動事前・事後の検討を行っている。	全職員が必ず参加できるわけではないため、共有の方法を確立していかたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎年事業所評価アンケートを行い、保護者からの意見を頂いている。	頂戴した意見に対して、どのような検討を行いどのように対応していくか、周知をしていかたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	ミーティングを行うことで意見を出し合うことはできている。	率直な意見がどの程度出ているか不明なことがあるため、風通しのいい雰囲気や関係を職員間でも築いていかたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	実施していない。	第三者による外部評価は行なわれていないが、関係機関と連携を取る中でご意見を頂いている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	研修のお知らせが来ると、積極的に職員も研修に参加している。	専門職もいるため、職員が興味を持った研修があれば積極的に参加できるような仕組みを整えていかたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	支援プログラムを作成しホームページ上にて公開している。	教室としての独自のプログラムをさらに公表できる場を整えていかたい。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	子どもからの聞き取りも行い、子ども自身に自分を評価してもらう取り組みも行っている。	今後も保護者だけでなく、子ども自身からの聞き取りを継続していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	個々職員から子どもの様子を聞き取り、計画を作成している。	可能な限り全職員でのミーティングを行い、計画を作れるよう努めたい	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	個別支援計画を職員間で回観することで支援内容については共有されている。	支援内容が実際の計画とどの程度一致して、どのような成果があったか、という評価までの流れを精査していかたい。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	個人記録に日々の子どもの様子を記録している。	個人記録は主観的な評価が含まれてしまうため、標準化されたツールを使い客観的な評価を取り入れていきたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	全ての項目に応じた目標が設定されている。	移行支援や地域支援に関しては、一律同じような文言になってしまい、個別化がなされていないため、今後内容を検討していかたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	専門的の支援・集団活動についてはチームでミーティングを行えている	イベントの企画について、担当者への負担が大きくなってしまうため、全体でのサポートを心掛けたい	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	実施職員が変わったり、内容にバリエーションをつけて工夫している。	工作や音楽といった職員の得意を活かせることが増えているため、今後も続けていきたい。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	集団活動・自由時間に偏らないように職員で計画的な支援が行われている。	教室の中で個別活動を行うのは難しいが、自由時間を活かして必要に応じて取り出して個別活動も取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	活動前にサポートしてほしいことを共有してから活動に臨んでいる。	共有の仕方が難しく、実施者の意図しないサポートになってしまふこともあるため、共有方法について検討していかたい。	

21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	送迎後は就業時間になってしまふため、翌朝に共有していることが多い。	当日に振り返りの時間を取るのが難しいため、翌日の共有のために情報の整理の仕方を検討したい。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	個人記録に極力具体的な内容を記載するようになっている。	個人記録の記入に時間がかかりすぎてしまうため、効率化のためのブラッシュアップが必要である。
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	半年ごとのモニタリングとして面談を年2回は行っている。	今後も定期面談を継続し、必要に応じてはさらに面談の機会も設けていく。
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	2	3	自立支援や創作活動等を中心に支援を行っている。	地域交流が少ないため、今後どのように増やしていくか検討が必要。
	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	長期休暇時には子ども同士で集団活動の内容を話し合い決めている。	長期休暇以外の場面で子ども同士で何かを決める場面が少ないので、できることを模索していきたい。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	会議前には事前に職員に対象児童の様子の聞き取りを行っている。	児発管以外の直接参加が難しいが、できるだけ対象児童をよく知っている職員も参加できると望ましい。
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	積極的に情報提供を行ったり、必要に応じてはこちらから質問をしたりして連携を取っている。	各機関それぞれに忙しさがある為、なかなか連携を取ることは難しいが、少ない機会の中で常に情報共有ができるように努めたい。
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	小学校の先生方とは密に連携を取れるよう、細かな情報共有等を心掛けている。	学年が大きくなってきたことで中学・高校にも利用者がいるが、先生方と連携を取ることが難しい。
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	就学前に利用していた事業所等や相談担当者から情報共有してもらうようにしている。	サポート架け橋シートを活用し、交流の機会を増やしていきたい。
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	大きい子が増えてきているため、就労移行支援の情報等を收集しつつでも情報提供できるよう準備している。	子供の年齢が高くなっているため、事業所として就労関係の情報をたくさん集めていく必要がある。
29	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	相談担当者との連携はとれている。	色々な事例があるため、スーパーバイズが受けられる場を増やしていく必要がある。
	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	5	現状、地域の子どもと交流する機会がなくなっている。	子どもたちの特性に配慮しながら、様々な交流の機会を模索していく必要がある。
	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	オーナーや管理者が参加している。	現場でもどのような話し合いが行われているか興味がある職員もいるため、会議内容を周知・共有していきたい。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時や連絡帳、または電話でのやり取りを通じて細かく連携を図っている。	職員の保護者対応について、全職員が多くのご家庭とやり取りできるように、保護者対応の指導もさらに行なっていきたい。
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	講演会を行い保護者への研修も行っている。	主な機会が講演会のみのため、今後講演会ほどの規模でなくても、情報提供を増やしていきたい。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	主に契約時に丁寧に説明を行っている。	契約以降は丁寧に説明することが難しいため、可能な限り説明の場を設けていきたい。
	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	定期的なモニタリングに加え、日々の支援の中でも子ども・保護者から話を聞くことを大切にしている。	気軽に話せる関係を子ども・保護者のどちらとも築けるように努めている。
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	事業所内だけでなく、家庭や学校での様子・目標も聞き取りながら計画を作成している。	今後も保護者と丁寧に連携を取りながら、納得いただける計画を作成していく。
	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	必要に応じて医療や教育機関と連携し、包括的な支援を心掛けている。	今後も必要に応じてすぐに各機関と連携できるよう、相談担当者との関係を密にしていきたい。
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	5	現状、年1回の講演会のみ行っている。	保護者の要望を聞きつつ、必要があれば保護者会等の場を検討していきたい。
40	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情やご意見についてはすぐに管理者等に報告し、その後の対応を検討、そしてご家庭に返事をしている。	保護者から忌憚なきご意見がもらえるような関係性を築き、信頼関係の維持に努める。
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	公式SNSを用いてイベントの様子を写真や文書付きで発信している。	イベントから時間が空いてからの発信になってしまふ事があるため、早く発信していく必要がある。
	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	公式SNSを用いる等で、保護者のみに情報を公開している。	引き続き個人情報扱いに関しては職員間で気を付けるよう注意していく。

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	言葉だけで共感を示すのではなく、身体を使って大きく反応したり、工夫して応答している。	保護者の方にもわかりやすい説明や、専門用語を使わない等を意識していきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	講演会については、市内の他こばんはうすにも呼び掛けて希望のある保護者に参加して頂いている。	防災訓練については非常時を意識し、地域に開かれた内容の企画を検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	職員を対象に各種マニュアル研修は行っている。	非常時の保護者に向けたマニュアルの周知について、今後どのようにしていくか検討していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	子どもと一緒に実際の避難経路を確認したりと、具体的な訓練行っている。	発電機等がないため、日々の業務から情報機器の充電や車両のガソリンについて意識を高くしておきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	契約時の聞き取りを始め、服薬等が必要になった際には保護者に確認を取っている。	保護者発信での服薬が多いため、服薬の変更についてリアルタイムで終えていない可能性がある。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	アレルギーがある子どもについては、おやつの内容を配慮したりと工夫している。	アレルギーに関する職員側の理解を深める研修を行なっていきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画に沿った設備点検(草刈りや車両点検等)を行なっている。	必要に応じて点検内容が多少前後することもあるため、状況に応じて柔軟に行う。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	安全計画を年度初めに公表し、実施した内容についても共有を行った。	安全点検内容等が全て周知できたわけではないため、さらに周知できるよう努めていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット専用用紙への記入とそれを踏まえた研修を年2回行っている。	ヒヤリハット事案の共有で終わってしまうことがあるため、対応策についても検討を深めたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	職員対象に虐待研修や年3回は虐待アンケートを行っている。	全職員が同じ研修に出ることが難しいため、持ち帰り研修等でしっかりと虐待に関する理解を深めたい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	現在、身体拘束は行っていない。	今後身体拘束の必要が生じたら、改めて職員に手続きに関する理解等を深めていきたい。